

日本文化研修で「芦屋釜の里、芦屋歴史の里資料館」へ行きました。

ヴェネツィア大学から来日した九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学国際交流・留学生センター所属の短期研修生5名は、6月5日（火）午後2時から「芦屋釜の里」と「芦屋歴史の里資料館」へ日本文化研修に出かけました。

「芦屋釜の里」では、茶室や日本庭園を見学した後、毛氈に正座し、お辞儀の仕方やお抹茶のいただき方を習い、季節を映した和菓子と一緒に抹茶をいただきました。実際に、自分達でも抹茶を点ててもみました。初めての茶筌振りに戸惑いながらも、上手に泡立った抹茶の味は、やはり茶道経験のある方に点てていただいた方が、粉が残らず美味しかったです。



また、「芦屋歴史の里資料館」では、400年前に途絶えた茶の湯の釜「芦屋釜」作りの伝統の技や釜の高価さ、芦屋周辺の海で発掘された品々や中国・韓国との関係についてなどを説明で学び、大変重厚な歴史を実感しつつ帰校しました。

今回の研修では、日本の代表的な伝統文化を体験する事ができ、とても良い時間が過ごせました。

